

令和6年3月18日  
地域交流部

## 第51回佐賀県芸術文化賞等表彰受賞者が市長を 表敬訪問されます

### 概要

佐賀県芸術文化賞を受賞した永富啓子さんと佐賀県芸術文化奨励賞を受賞した出口未来さんが市長を表敬訪問されます。

#### 1 日時

3月25日（月）14時30分

#### 2 場所

市長公室応接室

#### 3 訪問者

永富 啓子 （ながとみ けいこ） 声楽家  
出口 未来 （いでぐち みき） 声楽家

#### 4 対応者

峰市長、地域交流部長

#### 5 経過など

永富さんは、『市民合唱団「唐津」を歌う会』の指導と指揮を担当し、  
團伊玖磨<sup>だんいくま</sup>作曲の合唱組曲「唐津」の初演に貢献され、ドイツ歌曲を学  
ぶ若い声楽家やピアニストのために学ぶ場を提供するなど、音楽文化  
の向上に大きく貢献されていることから佐賀県芸術文化賞を受賞され  
ました。

出口さんは、県庁ロビーコンサート、佐賀市民芸術祭、幕末維新博  
野外ステージなど積極的に地域の音楽向上に貢献されており、今後の  
活躍が期待されるため佐賀県芸術文化奨励賞を受賞されました。

（本件の問い合わせ先）

地域交流部観光文化課

担当：山口、野口

電話：直通72-9127（内線2324）

## 佐賀県芸術文化賞 永富 啓子 様 (ながとみ けいこ)

■東京芸術大学声楽科卒業後、1971年からオーストリア・ウィーンに渡り、国立音楽大学オペラ科を卒業し、2000年までウィーンにおいてソプラノ歌手として活躍。その間、ウィーンに在住しながら日本とウィーンでリサイタル、コンサートなどを積極的に行い、技量を磨きながら実力をつけ声楽家としての地位を確立。2000年に帰国後、出身地でもある唐津市を中心に活動を開始。帰国後、東京・唐津・大阪などで2年に一度のリサイタルを開く。『市民合唱団「唐津」を歌う会』の指導と指揮を担当し、團伊玖磨作曲の合唱組曲「唐津」の初演に貢献されました。また、ピアノや声楽を学ぶための「サエダムズイークラウム」を主宰しコンサートの上位入賞者を多く輩出。ドイツ歌曲を学ぶ若い声楽家やピアニストのためのドイツ歌曲研究会「フリーダー」を立ち上げ月1回の勉強会、年1回のコンサートを開催し多くの声楽家、ピアニストの学ぶ場を提供するなど、音楽文化の向上に大きく貢献されていることから佐賀県芸術文化賞を受賞されました。

## 佐賀県芸術文化奨励賞 出口 未来 様 (いでぐち みき)

■音楽大学卒業後、ソプラノ歌手として、オペラ出演、リサイタル、コンサート、オーケストラとの共演、芸術祭への出演など一貫して声楽家として精進されています。また、ソロリサイタルにも意欲的で2020年には佐賀県芸術文化協会助成事業を利用し、リサイタルを開催。県庁ロビーコンサート、佐賀市民芸術祭、幕末維新博野外ステージなど積極的に地域の音楽向上にも貢献されており、今後の活躍が期待されるため佐賀県芸術文化奨励賞を受賞されました。